

「第7期 福島子ども未来塾 第5回」



【参加者】 小学5年生～中学2年生
 【場所】 国立磐梯青少年交流の家
 さいえねパーク
 猪苗代湖



○事業趣旨

- ・ 東日本大震災から復興を目指す福島県内の企業のSDGsについて学ぶ。
- ・ 再生エネルギーをはじめとする次世代エネルギーについて理解する。

○参加者内訳

対象	男	女	計
小学5年生	10	19	29
小学6年生	8	14	22
中学1年生	4	0	4
中学2年生	1	0	1
合計	23	33	56

○活動日程

	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	
11/20 (土)						到着 受付	開校式	昼食・休憩	福島さいえねパーク見学		移動	荷物移動	休憩	夕食	休憩	株式会社リオン・ドール・コーポレーション 副社長 安西靖雄様 講話	調べ学習の進め方	入浴	就寝準備
11/21 (日)	起床 部屋清掃	朝の集 い う 夕 休 息	移動	朝食	荷物整理 部屋清掃 部屋点検	移動	株式会社 猪苗代観光船 代表取締役 渡部 英一様 講話	Heart Globalキヤ ンパ ン プ リ 返 り	移動	遊覧船 はくちょう丸	移動 記念 写真	昼食	開校式						

○研修トピックス

「さいえねパーク見学」

福島市のさいえねパークでふくしま hidro サプライ株式会社より SDGs について、自社の取り組みについて教えていただいた。また、移動式水素ステーション、水素自動車やソーラーパネルを実際に見て、再生可能エネルギーの大切さや価値について学んだ。

「講話：SDGS への取り組み」

株式会社リオン・ドール コーポレーション副社長の安西靖雄様から企業としての SDGs への関わり方について、お話をいただいた。自社の取り組みについて、地域のために何ができるかなど教えていただいた。

「講話：地域活性化の取り組み（猪苗代町）」

株式会社猪苗代観光船・代表取締役の渡部英一様から猪苗代湖や遊覧船に対する想いについて、お話をいただいた。実際に、猪苗代湖遊覧船「はくちょう丸」に乗せていただき、猪苗代湖から磐梯山や街並みを見て充実した時間を過ごすことができた。天候にも恵まれ、心に残る体験・学習ができた。

○成果と課題○

<成果>

- エネルギー循環の仕組みを見学することを通して、次世代エネルギーについて視覚的に理解を深めたり、興味を示し、普段のエネルギーの使い方について考える子の姿が見られた。
- SDGs という難しい話題も、専門家が、自社の取り組みなどを分かりやすくかみくだいて話をしていただき、子ども達にしっかり伝わった。
- 実際に猪苗代湖の遊覧船に乗るということは、とても貴重な体験であった。子ども達からは、「楽しい。」という声だけでなく、「猪苗代湖を守りたい。」という声を聞くことができ、実際に見学させることの大切さを実感した。
- 子どもたちも SDGs というワードは、聞いたことがあるが分からない子が多くいた。福島県内の3つの企業の SDGs の取り組みを聞いて、「実際に身近にできることがある」という声が聞こえた。

<課題>

- 猪苗代町の地域活性化の取り組みの説明は少し内容が難しかったので、事前に、こちらで補足資料を準備する等の対応が必要であった。パワーポイントによる講話での説明は、児童にとって非常に有効であることが分かったので、今後検討していきたい。